令和７年度「専門職業人材の最新技能アップデートのための専修学校リカレント教育推進事業」
専門職業人材の最新技能アップデートプログラムの開発
一般用医薬品販売資格（登録販売者）に関するアップデートプログラム事業

成果報告書

学校法人摺河学園 姫路ハーベスト医療福祉専門学校

はじめに

近年のドラッグストアチェーン業界の躍進は目を見張るところがあり、業界の売り上げも右肩上がりが続いています。

また、ドラッグストアチェーンに勤務するには、「登録販売者」の資格取得が必須で、その資格取得に必要な時間は３００時間といわれています。

登録販売者受験者数と合格者数は、直近の３年間を見ますと２０２０年度の受験者数は５２，９５９人、合格者数２１，９５３人（合格率：４１．５％)、２０２１年度の受験者数は、６１，０７０人、合格者数３０，０８２人（合格率：４９．３％)、２０２２年度の受験者数は５５，６０６人、合格者数２４，７０７人（合格率：４４．４％）と推移しており、毎年５０，０００人以上の方が受験しています。

本事業は、令和５年度から文部科学省委託事業として、教育機関である専修学校はじめ、企業・団体、行政が連携し取り組んでいく「専門職業人材の最新技能アップデートのための専修学校リカレント教育推進事業」で、ドラッグストアチェーン業界では必須な資格「登録販売者」の資格取得をはじめ、資格取得後のステップアップや管理者養成向けの補助教材ツールのアプリ開発を行う事業です。

「登録販売者」については、一番つまずきやすいと言われている消化器系や神経などをはじめ、薬の作用、接客技術といった部分に焦点をあてて理解に掛ける時間数の軽減につなげ、タイムパフォーマンスによる理解度向上と知識の定着効果を目指します。

資格取得後のステップアップや管理者養成は、コミュニケーションや法改正、その最新情報の提供により、日々、好きな時間でアップデートしステップアップができることにより、日々の業務に対する人的負担を軽減することが可能となり、人材不足解消につなげる効果を目指す。

効率的、かつ効果的なアプリ開発をすることにより、ドラッグストアチェーン業界で勤務している方々をはじめ、将来、この業界に進む方々にとって使い勝手の良い補助教材アプリ開発を目指します。

本年度は、令和６年度課題としていた補助教材アプリの改善を図り、成果として作り上げることができました。これもひとえに、ご協力いただいた委員の方々や有識者の方々のご尽力の賜物でもあります。開発しました補助教材アプリが多くの方々の一助になることを願うばかりです。

最後に、本事業に多大なるご協力をいただいた関係者の方々には深く感謝するとともに、この成果が関係者の方々にとって一助となれば幸いです。

令和８年２月

事業責任者
学校法人摺河学園姫路ハーベスト医療福祉専門学校
法人本部本部長　西川　一

目次 ＣＯＮＴＥＮＴＳ

はじめに

第１章 令和７年度活動概要

１．事業の趣旨・目的 ･･･３
２．必要な背景 ･･･３
３．開発する講座の概要 ･･･５
（１）初級編（登録販売者資格取得向け） ･････････････････････････５
（２）ステップアップ編 ･･６
（３）補助教材アプリシステム概要 ･･････････････････････････････････７
４．構成機関・構成員等 ･･･８
（１）教育機関と役割・協力事項 ･････････････････････････････････････８
（２）企業・団体と役割・協力事項 ･･･････････････････････････････････８
（３）行政機関と役割・協力事項 ･････････････････････････････････････９
（４）実施体制イメージと各会議体の役割 ････････････････････････１０
（５）各会議体の目的と役割、および構成委員 ････････････････････１１
①企画推進委員会 ･･１１
②プラグラム開発 WG ･･･１２
③課題分析 WG ･･･１４
④実証実験 WG ･･･１４
５．令和７年度取組み概要 ･･１６
（１）補助教材アプリ開発（特徴抜粋）････････････････････････････１６
（２）シラバス・コマシラバス【初級編（登録販売者資格取得者向け）】･･････１９
（３）実証実験概要 ･･･２１
①実施先・人数・日時 ･･･２１
②対象 ･･･２１
③実証実験授業形態 ･･･２１
④新規作成：症状事例ＡＲ参考原稿（抜粋） ････････････････････････２２
⑤受講生・講師アンケートの実施 ･･･････････････････････････････････２３
６．会議実績 ･･･２５

第２章 令和７年度活動詳細

１．補助教材アプリ開発 ･･･２９
２．実証実験 ･･･３４
（１）実証実験概要 ･･･３４
（２）実証実験風景およびアンケート ･････････････････････････････････３５

①北日本医療福祉専門学校　有資格者向け ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３５
②ヒアリング結果 ・・３５
③北日本医療福祉専門学校　資格取得者向け ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３６
④アンケート結果 ・・・３７
⑤姫路ハーベスト医療福祉専門学校　資格取得者向け ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４０
⑥アンケート結果 ・・・４０
⑦２校合算結果 ・・４３
⑧企業実証実験 ・・４６
⑨講師アンケート ・・・４６

第３章　令和７年度総括と事業終了後について
１．補助教材アプリ開発 ・・・５１
２．実証実験 ・・・５１
（１）実証実験 ・・５１
①実施先・人数・日時 ・・５１
②対象 ・・・５１
（２）アンケート結果からの考察 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５２
３．令和７年度総括 ・・５２
４．事業終了後について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５２

第４章　会議録・参考資料
会議録 ・・・５５
参考資料 ・・７９

第１章　令和７年度活動概要

第１章 令和７年度活動概要

１．事業の趣旨・目的

ドラッグストア等で働くためには、「登録販売者」の資格取得が必要であり、その学習時間はおおむね３００時間程度必要といわれている。また、厚生労働省は、登録販売者として働き続けるには、販売者の質の向上と医薬品の適正使用のための知識の吸収と日々進歩する医薬品に関する知識の吸収による安全対策の強化を習得していく必要があるとして、毎年１２時間以上の定期的・継続的に外部研修（継続研修）を受講しなければならないとして義務化している。さらに、管理職には、その心構えとガバナンス等の知識を求められている。

本事業では、「登録販売者」の資格取得に掛かる時間と外部研修（継続研修）内容の理解向上、さらには、ドラッグストア等の店舗管理を行う管理職や管理職有望者に対して、効率的かつ効果的な教育プログラムと補助教材ツール（アプリ）開発を作ることを目的とする。補助教材ツール（アプリ）開発は、一番躓きやすいと言われている消化器系や神経をはじめ、薬の作用、接客技術といった部分に焦点をあてて理解に掛ける時間数の軽減につなげる。

このように、資格取得に掛ける時間や資格取得後のステップアップや管理者養成のタイムパフォーマンスを上げ、日々の業務に対する人的負担を軽減することが可能となり、人材不足解消につなげる効果も見込まれる。

２．必要な背景

【ドラッグストアで働くには】

ドラッグストアチェーンの店舗で働くには、「登録販売者」の資格取得が業界で義務付けられている。新入社員教育には、この「登録販売者」の資格取得教育研修が欠かせない状況であり、この「登録販売者」資格を維持継続するために、定期的・継続的に外部研修（継続研修）を受講しなければならないとして義務化されている。

【現在の主な教育手法】

ドラッグストアチェーン社員の学習環境は、「登録販売者」の資格取得や外部研修（継続研修）は、直接会場に集まって行う集合研修や e-ラーニングによる講師が説明している動画、ｙｏｕｔｕｂｅ動画など様々な方法で行われている。ｅ-ラーニングではオンデマンド型が中心でＰＰＴＸを使って講師が説明しているところが多い。

①登録販売者の場合：今現在、過去問をひたすら反復して解く学習方法やオンデマンド型のオンライン学習が主流であるが、単に資格取得するための一過性に過ぎず、知識の定着がない合格者がいるため、最も躓きやすい薬の効果や消化器系、神経系の働きについて全体像と各部の名称や役割、その作用等についても具体的なイメージが持てないままのやり方で行われている。

②外部研修（継続研修）の場合：例えば、新しい薬の知識習得といったことも、講師の説明して

いることを聞くことに留まり、行われている。様々なシチュエーションが必要な内容は、集合研修学習できるが、店舗管理者に求められるガバナンス、法令、コンプライアンス、コミュニケーションについて理解の定着までには時間を要する。
また、Web 教材の在り方に懐疑的な状況である。

シミュレーションしながら学ぶ教材ツールがなく具体的なイメージが持てないままの学習方法で行われているため、理解するのに時間が掛かるところがある。

【現状の声】

正式なヒアリングという形式ではないが、当校で少ないが 5 社へヒアリングを行った。①社員の登録販売者有資格者の知識定着ができていない、②高卒の社員はなかなか資格が取れない、③社内・顧客などにコミュニケーションがなかなかできない人が多くなっている、④登録販売者資格取得に要する学習時間を短くしてほしい、⑤空き時間でできるアプリなどがほしい（気軽に確認できるもの、ゲーム感覚的な要素があるもの）、⑥アプリ等教材を作ってほしい、ＡＲで消化器系の位置がだいたい分かるもの、説明付きなど、⑦新商品情報などを、あまり時間をかけずに学ぶことができるアプリなどがあればいい。といった回答であった。

特に③～⑤の回答ではタイムパフォーマンスを上げる手段として、アプリ開発は有用と思われる。

【解決策】

本事業で開発するアップデート教育プログラムは、近年、専門知識・スキルの定着ができていない登録販売者の有資格者が目立ってきているため、本来の有資格者に必要な専門知識・スキルの定着をはじめ、最新情報（薬の新商品情報含む）、昇進・昇格に必要な更なる知識等の習得ができる教育プログラム開発の必要性を感じている薬業界全体の研修・教育をはじめ、登録販売者試験テキストや外部研修を行っている一般社団法人日本薬業研修センターと登録販売者の個人サポート機関である一般社団法人日本医薬品登録販売者協会と連携しながら行う。

教育内容の質担保をしっかりと保ちつつ、知識の定着に必要と考えられる教材ツール（アプリ）開発を含め、従来の教育・研修方法を補うことで、より一層効率的かつ効果的な知識の定着ができるリカレント教育への参入に登録販売者資格取得学科を有している全国の専門学校も薬業界全体に提供できると考える。

それと同時に、ドラッグストアチェーン等も人材不足が深刻化している業界でもあることから、資格取得に掛ける時間を短く、登録販売者資格取得後のステップアップや管理者養成を補いつつ、効率化することでタイムパフォーマンスも上げる効果につなげ、日々の業務量に対する人的負担を軽減し、人材不足解消につなげる効果も見込まれると考える。

３．開発する講座の概要

（１）初級編（登録販売者資格取得向け）

・対象：登録販売者資格取得を目指す学生や社会人

・学習方法：オンライン、ｅ-ラーニング、自己研鑽、集合研修など

・開発概要：登録販売者の資格を取得するには、第 １ 章：医薬品に共通する特性と基本的な知識、第２章：人体の働きと医薬品、第３章：主な医薬品とその作用、第４章：薬事関係法規・制度、第５章：医薬品の適正使用・安全対策の範囲を学習する必要があるが、イメージできずにいる方が多い、そこで、躓きやすく理解するまでに掛かる時間を少なくする効果を目指す。

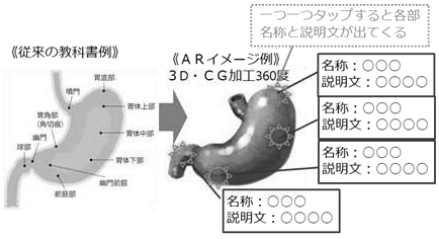
例えば、特に時間を要する第２章の人体の働きと医薬品と第３章の主な医薬品とその作用部分であるが、具体的にイメージできる教材が無い。冊子による紙の教材やＰＰＴＸ＋講師解説などによるオンデマンド型によるものが主流であるが、どのような動きをするのかといった動きが無い。

本事業ではＡＲ、３ＤＣＧ、アニメーション技術などを活用した教材ツール（アプリ）を開発する。服薬後に薬効成分を体内に取り込みためには消化器系の理解を深めるため、機能をはじめ、薬がどのような通り道を通っていくのか。薬の溶け方や体の中に入る仕組み、体の中に入った薬の動きの学習を補うことができる学習補助教材を開発する。

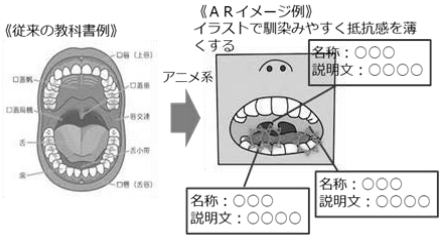
従来の教科書のイラストでは理解しにくい機能と構造をＡＲと３ＤＣＧ、アニメーションを活用したアプリ教材により、具体的に体のどこにあり、どのような形をしているか立体的な画像を取り入れる。人体の構造をよりイメージできることにより、理解度を高める。

また、教科書では、イラストで名称が記載されて、別れてそれぞれの名称の説明文が記載されているが、併記して各部の名称と説明文を入れることができ、さらに一層具体的なイメージを持たせることができる。さらに受講生は、遠隔授業をはじめ、自宅、電車等の移動中、外出先といった場所を選ぶことなく自ら振り返り、反復学習が可能となる。

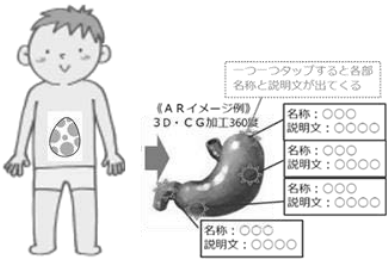
【消化器系（胃）のイメージ】



【消化器系（口腔部）イメージ】



【AR 開発イメージ（胃）：人にかざすとアイコンがでる】



（２）ステップアップ編

・対象登録販売者有資格者

・学習方法：オンライン、ｅ-ラーニング、自己研鑽、集合研修など

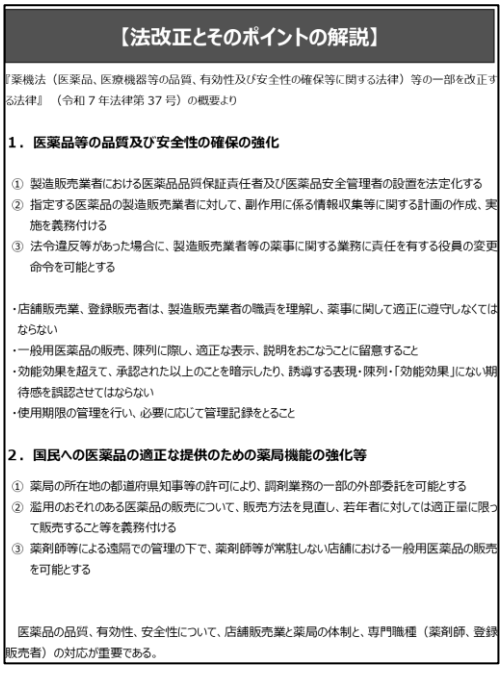
・開発概要：資格取得後のステップアップや管理者養成

店舗管理者に求められるガバナンス、法令、コンプライアンス、コミュニケーションなどについての教育プログラム開発。教材ツール（アプリ）は、OTC 医薬品最新情報提供をはじめ、ハラスメント系、法改正、税制関係などを展開

《OTC 医薬品最新情報》



《法改正》



【法改正とそのポイントの解説】

『薬機法（医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律）等の一部を改正する法律』（令和７年法律第 37 号）の概要より

１．医薬品等の品質及び安全性の確保の強化

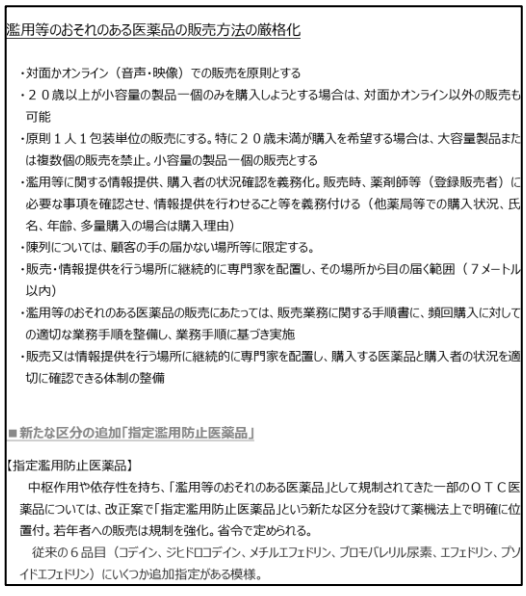
① 製造販売業者における医薬品品質保証責任者及び医薬品安全管理者の設置を法定化する
② 指定する医薬品の製造販売業者に対して、副作用に係る情報収集等に関する計画の作成、実施を義務付ける
③ 法令違反等があった場合に、製造販売業者等の薬事に関する業務に責任を有する役員の変更命令を可能とする

・店舗販売業、登録販売者は、製造販売業者の職責を理解し、薬事に関して適正に遵守しなくてはならない
・一般用医薬品の販売、陳列に際し、適正な表示、説明をおこなうことに留意すること
・効能効果を超えて、承認された以上のことを暗示したり、誘導する表現・陳列・「効能効果」にない期待感を誤認させてはならない
・使用期限の管理を行い、必要に応じて管理記録をとること

２．国民への医薬品の適正な提供のための薬局機能の強化等

① 薬局の所在地の都道府県知事等の許可により、調剤業務の一部の外部委託を可能とする
② 濫用のおそれのある医薬品の販売について、販売方法を見直し、若年者に対しては適正量に限って販売すること等を義務付ける
③ 薬剤師等による遠隔での管理の下で、薬剤師等が常駐しない店舗における一般用医薬品の販売を可能とする

医薬品の品質、有効性、安全性について、店舗販売業と薬局の体制と、専門職種（薬剤師、登録販売者）の対応が重要である。



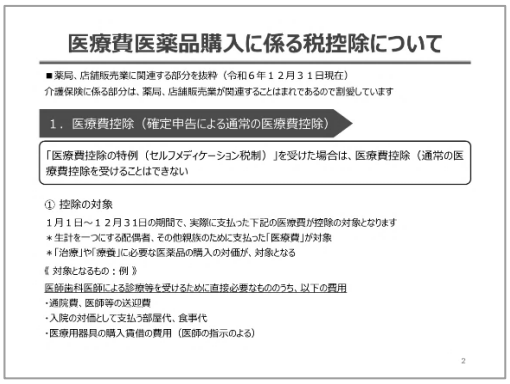
濫用等のおそれのある医薬品の販売方法の厳格化

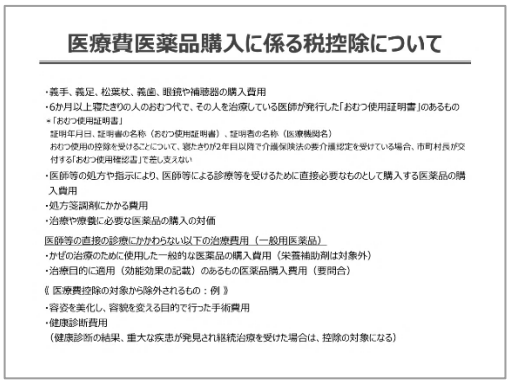
・対面かオンライン（音声・映像）での販売を原則とする
・２０歳以上が小容量の製品一個のみを購入しようとする場合は、対面かオンライン以外の販売も可能
・原則１人１包装単位の販売にする。特に２０歳未満が購入を希望する場合は、大容量製品または複数個の販売を禁止。小容量の製品一個の販売とする
・濫用等に関する情報提供、購入者の状況確認を義務化。販売時、薬剤師等（登録販売者）に必要な事項を確認させ、情報提供を行わせること等を義務付ける（他薬局等での購入状況、氏名、年齢、多量購入の場合は購入理由）
・陳列については、顧客の手の届かない場所等に限定する。
・販売・情報提供を行う場所に継続的に専門家を配置し、その場所から目の届く範囲（７メートル以内）
・濫用等のおそれのある医薬品の販売にあたっては、販売業務に関する手順書に、頻回購入に対しての適切な業務手順を整備し、業務手順に基づき実施
・販売又は情報提供を行う場所に継続的に専門家を配置し、購入する医薬品と購入者の状況を適切に確認できる体制の整備

■新たな区分の追加「指定濫用防止医薬品」

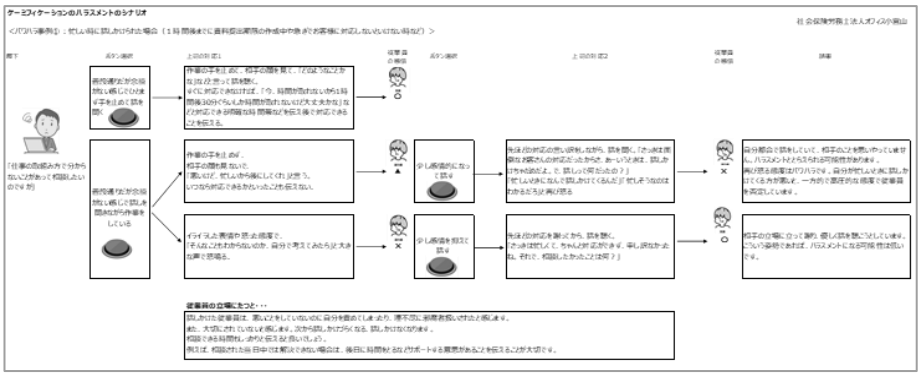
【指定濫用防止医薬品】
中枢作用や依存性を持ち、「濫用等のおそれのある医薬品」として規制されてきた一部のＯＴＣ医薬品については、改正案で「指定濫用防止医薬品」という新たな区分を設けて薬機法上で明確に位置付。若年者への販売は規制を強化。省令で定められる。
従来の６品目（コデイン、ジヒドロコデイン、メチルエフェドリン、ブロモバレリル尿素、エフェドリン、プソイドエフェドリン）にいくつか追加指定がある模様。

《医療費医薬品購入に係る税控除について》





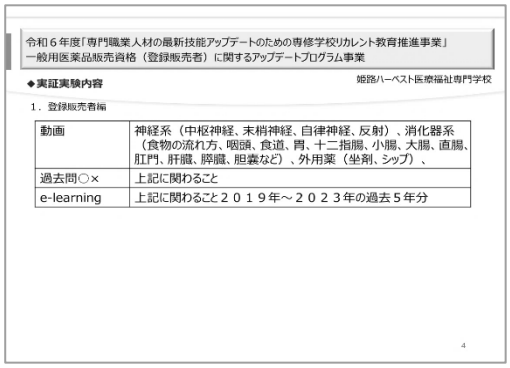
《ハラスメント系（イメージ図：ゲーミフィケーション的なもの）》

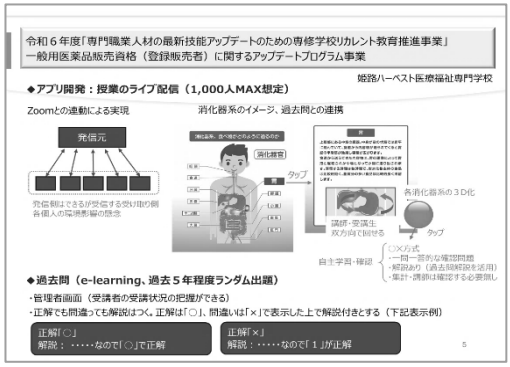


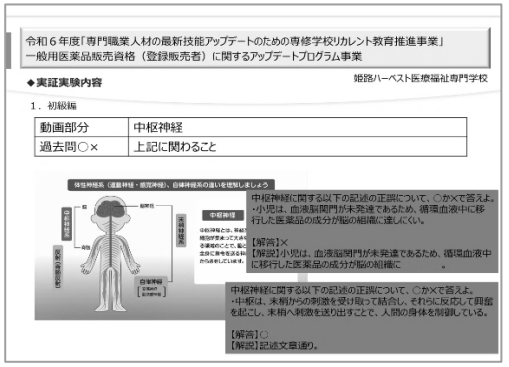
（３）補助教材アプリシステム概要

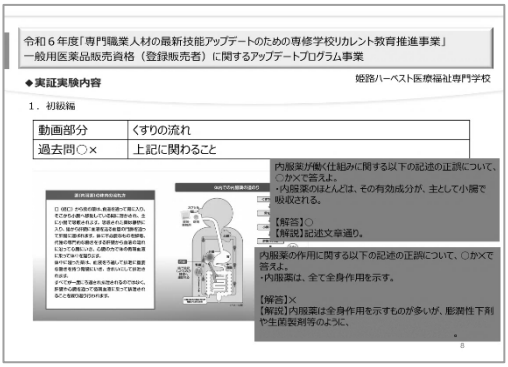
様々な機能を組み込んだ補助教材アプリ開発を目指す。










令和６年度「専門職業人材の最新技能アップデートのための専修学校リカレント教育推進事業」
一般用医薬品販売資格（登録販売者）に関するアップデートプログラム事業

◆実証実験内容　姫路ハーベスト医療福祉専門学校

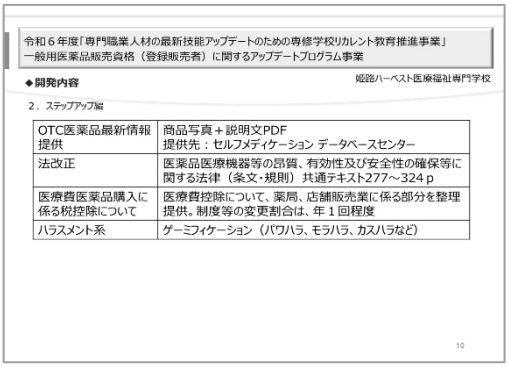
１．初級編

動画部分	くすりの流れ
過去問○×	上記に関わること

内服薬が働く仕組みに関する以下の記述の正誤について、○か×で答えよ。
・内服薬のほとんどは、その有効成分が、主として小腸で吸収される。
【解答】○
【解説】記述文章通り。

内服薬の作用に関する以下の記述の正誤について、○か×で答えよ。
・内服薬は、全て全身作用を示す。
【解答】×
【解説】内服薬は全身作用を示すものが多いが、膨潤性下剤や生菌製剤等のように、

8

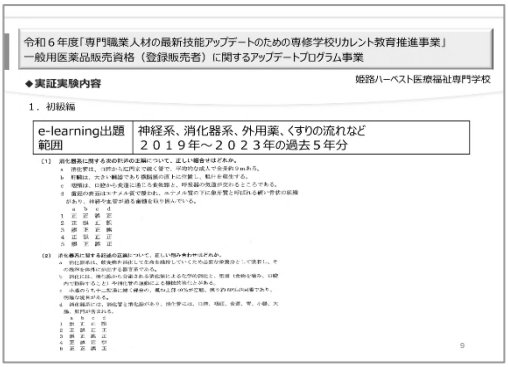

令和６年度「専門職業人材の最新技能アップデートのための専修学校リカレント教育推進事業」
一般用医薬品販売資格（登録販売者）に関するアップデートプログラム事業

◆開発内容　姫路ハーベスト医療福祉専門学校

２．ステップアップ編

OTC医薬品最新情報提供	商品写真＋説明文PDF 提供先：セルフメディケーション データベースセンター
法改正	医薬品医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律（条文・規則）共通テキスト277～324ｐ
医療費医薬品購入に係る税控除について	医療費控除について、薬局、店舗販売業に係る部分を整理提供。制度等の変更割合は、年１回程度
ハラスメント系	ゲーミフィケーション（パワハラ、モラハラ、カスハラなど）

10


令和６年度「専門職業人材の最新技能アップデートのための専修学校リカレント教育推進事業」
一般用医薬品販売資格（登録販売者）に関するアップデートプログラム事業

◆実証実験内容　姫路ハーベスト医療福祉専門学校

１．初級編

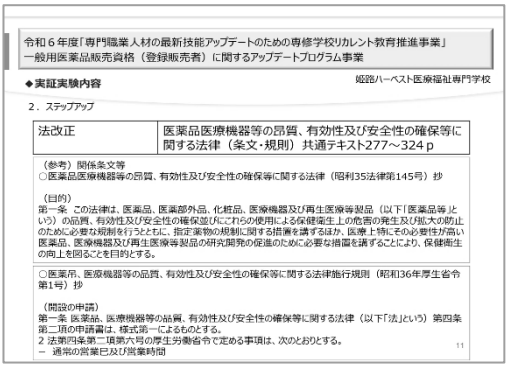
e-learning出題範囲	神経系、消化器系、外用薬、くすりの流れなど ２０１９年～２０２３年の過去５年分

9


令和６年度「専門職業人材の最新技能アップデートのための専修学校リカレント教育推進事業」
一般用医薬品販売資格（登録販売者）に関するアップデートプログラム事業

◆OTC医薬品最新情報掲載例20241121　姫路ハーベスト医療福祉専門学校

30


令和６年度「専門職業人材の最新技能アップデートのための専修学校リカレント教育推進事業」
一般用医薬品販売資格（登録販売者）に関するアップデートプログラム事業

◆実証実験内容　姫路ハーベスト医療福祉専門学校

２．ステップアップ

法改正	医薬品医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律（条文・規則）共通テキスト277～324ｐ

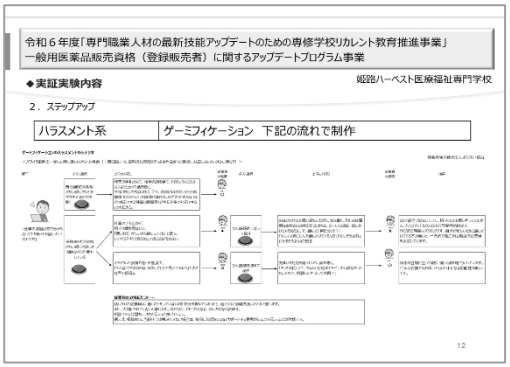
（参考）関係条文等
○医薬品医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律（昭和35法律第145号）抄

（目的）
第一条　この法律は、医薬品、医薬部外品、化粧品、医療機器及び再生医療等製品（以下「医薬品等」という）の品質、有効性及び安全性の確保並びにこれらの使用による保健衛生上の危害の発生及び拡大の防止のために必要な規制を行うとともに、指定薬物の規制に関する措置を講ずるほか、医療上特にその必要性が高い医薬品、医療機器及び再生医療等製品の研究開発の促進のために必要な措置を講ずることにより、保健衛生の向上を図ることを目的とする。

○医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律施行規則（昭和36年厚生省令第1号）抄

（開設の申請）
第一条 医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律（以下「法」という）第四条第二項の申請書は、様式第一によるものとする。
２ 法第四条第二項第六号の厚生労働省令で定める事項は、次のとおりとする。
一　通常の営業日及び営業時間

11


令和６年度「専門職業人材の最新技能アップデートのための専修学校リカレント教育推進事業」
一般用医薬品販売資格（登録販売者）に関するアップデートプログラム事業

◆実証実験内容　姫路ハーベスト医療福祉専門学校

２．ステップアップ

ハラスメント系	ゲーミフィケーション　下記の流れで制作

12

４．構成機関・構成員等

（１）教育機関と役割・協力事項

【役割・協力事項】

▶調査、実証実験に関する手法と検討協力

▶シラバス・コマシラバスのアドバイス

▶開発する教育カリキュラム・プログラム構成の提案・アドバイス・検討

▶教材ツール（アプリ）構成の提案・アドバイス・検討

▶ＧＰＡ開発協力

▶普及に関するアドバイス　等

構成機関（学校・団体・機関等）の名称		役割等	都道府県名
1	姫路ハーベスト医療福祉専門学校	代表校、事業全体運営管理	兵庫県
2	北日本医療福祉専門学校	教育プログラム検討・開発・実証実験・普及	岩手県

（２）企業・団体と役割・協力事項

【役割・協力事項】

▶実証実験実施協力（企業協力を得るためのポイント・アドバイス、検証協力等）

▶テキスト開発協力（内容の精査、アドバイス等）

▶開発する教育カリキュラム・プログラムへのアドバイス

▶教材ツール（アプリ）開発の協力とアドバイス

▶最新情報の提供とポイントのアドバイス　等

名称		役割等	都道府県名
1	一般社団法人日本薬業研修センター	企画・教育プログラム検討・資料提供	神奈川県
2	一般社団法人日本医薬品登録販売者協会	企画・教育プログラム検討・資料提供	東京都
3	株式会社サッポロドラッグストアー	企画・教育プログラム検討・資料提供・汎用性・普及	北海道
4	株式会社 MCC マネジメント	企画・教育プログラム検討・資料提供・汎用性・普及	東京都
5	株式会社せいきキタバ薬局	企画・教育プログラム検討・資料提供・汎用性・普及	大阪府
6	ゴダイ株式会社	企画・教育プログラム検討・資料提供・実証実験・普及	兵庫県
7	株式会社キノシタヤ	企画・教育プログラム検討・資料提供・実証実験・普及	兵庫県
8	株式会社ザグザグ	企画・教育プログラム検討・資料提供・実証実験・普及	岡山県
9	姫路商工会議所 ものづくり支援センター　ＩＴ専門サポーター	汎用性・普及・評価	兵庫県
10	株式会社ビジョンクエスト	ｅ－ラーニングアドバイス・汎用性・普及	兵庫県

11	株式会社クレールポート	汎用性・普及	大阪府
12	株式会社ハッピーワールド	汎用性・普及	大阪府

（３）行政機関と役割・協力事項

【役割・協力事項】

▶開発した教育カリキュラム・プログラムの評価

▶テキスト・教材ツール（アプリ）・実証実験等の評価・アドバイス

▶汎用性の妥当等に関する評価・アドバイス　等

名称		役割等	都道府県名
1	兵庫県保健医療部 薬務課	汎用性・普及・評価	兵庫県

（４）実施体制イメージと各会議体の役割

【実施体制イメージ】



【企画推進委員会役割】

●事業方針・スケジュール管理（進捗管理）

●事業全体の運営・管理

●各 WG の調整

●成果報告書の編集・まとめ

●成果検証：第三者評価委員の選出　等

【プログラム開発 WG 役割】

●知識・技能のアップデート教育プログラムの検討

●テキスト内容の検討

●アプリ内容の検討

●課題分析 WG からの企業ニーズ調査分析の対応　等

【課題分析 WG 役割】

●プログラム開発ＷＧから提案される内容の検討・改善

●企業ニーズ調査分析（社会人・企業内研修対象レベルの明確化等）
●実証実験の分析・精査・改善　等

【実証実験 WG 役割】
●実証実験の実施・運営管理
●ＫＰＩに沿った実証実験の効果検証
●受講生アンケート
●学習理解度データ収集・整理　等

（５）各会議体の目的と役割、および構成委員
①企画推進委員会
【目的】
　事業全体の計画・スケジュール等の策定と進捗管理をはじめ、各ＷＧが活動しやすいように外部協力など様々な調整を行う。
【役割】
●事業方針・スケジュール管理（進捗管理）
●事業全体の運営・管理
●委員の調整（事業状況により必要に応じて有識者委員の増減調整）
●各ＷＧの進捗管理・調整
●成果報告書の内容確認
●成果検証：第三者評価委員の選出　等

【企画推進委員会構成委員】

氏名		所属・職名	役割等	都道府県名
1	西川　一	学校法人摺河学園　法人本部 本部長	企画推進 事業責任者	兵庫県
2	菅原　武	姫路ハーベスト医療福祉専門学校 法人本部 副本部長	企画推進　事務局責任者	兵庫県
3	髙村幸生	北日本医療福祉専門学校　薬業科	教育プログラム検討・開発・実証実験・普及	岩手県
4	中込和哉	一般社団法人日本薬業研修センター 理事長	企画・教育プログラム検討・資料提供	神奈川県
5	横田　敏	一般社団法人日本薬品登録販売者協会　理事	企画・教育プログラム検討・資料提供	東京都

6	森田圭一朗	株式会社サッポロドラッグストアー　ドラックストア事業本部　第１エリア本部　ドラッグストア業務推進　Ｈ＆Ｂケア推進担当	企画・教育プログラム検討・資料提供・実証実験・普及	北海道
7	荒木文明	株式会社 MCC マネジメント　管理本部　人材開発部　人材事業推進課課長	企画・教育プログラム検討・資料提供・汎用性・普及	東京都
8	塚本隆文	株式会社せいきキハダ薬局 代表取締役社長	企画・教育プログラム検討・資料提供・汎用性・普及	大阪府
9	中野陽介	ゴダイ株式会社　教育採用支援部 副課長	企画・教育プログラム検討・資料提供・実証実験・普及	兵庫県
10	山本恭之	株式会社キノシタヤ薬局 代表取締役	企画・教育プログラム検討・資料提供・実証実験・普及	兵庫県
11	石田由佳	株式会社ザグザグ　総務部 採用チーム	企画・教育プログラム検討・資料提供・実証実験・普及	岡山県
12	案浦幹雄	株式会社ビジョンクエスト 代表取締役	ｅ－ラーニングアドバイス・汎用性・普及	兵庫県
13	阪　彰敏	株式会社クレールポート 代表取締役	汎用性・普及	大阪府
14	福田　修	株式会社ハッピーワールド 代表取締役	汎用性・普及	大阪府
15	鵜野昭二	姫路商工会議所 ものづくり支援センター　ＩＴ専門サポーター	汎用性・普及・評価	兵庫県
16	藤原秀憲	兵庫県保健医療部　薬務課 副課長	汎用性・普及・評価	兵庫県
17	片山芳信	姫路ハーベスト医療福祉専門学校 医薬健康学科 学科長	教育プログラム企画検討・改善	兵庫県

②プログラム開発 WG

【目的】

アップデート教育プログラムに必要な内容の構築、および関係団体や講師等の調整を行う。

【役割】

●シラバス・コマシラバスの骨子案作成

●知識・技能のアップデート教育プログラムの検討（ＫＰＩに沿った内容検討）
●テキスト内容の検討（骨子案作り）
●教材ツール（アプリ）内容の検討（骨子案作り）
●課題分析ＷＧからの企業ニーズ調査分析の対応（教育プログラムへ反映検討）
●教師用テキスト（指導要領）の検討　等

【プログラム開発 WG 委員会構成委員】

氏名		所属・職名	役割等	都道府県名
1	西川　一	学校法人摺河学園　法人本部 本部長	企画推進 事業責任者	兵庫県
2	菅原　武	姫路ハーベスト医療福祉専門学校 法人本部 副本部長	企画推進 事務局責任者	兵庫県
3	髙村幸生	北日本医療福祉専門学校　薬業科	教育プログラム検討・開発・実証実験・普及	岩手県
4	中込和哉	一般社団法人日本薬業研修センター 理事長	企画・教育プログラム検討・資料提供	神奈川県
5	横田　敏	一般社団法人日本薬品登録販売者協会　理事	企画・教育プログラム検討・資料提供	東京都
6	森田圭一朗	株式会社サッポロドラッグストアー　ドラックストア事業本部　第１エリア本部　ドラッグストア業務推進　Ｈ＆Ｂケア推進担当	企画・教育プログラム検討・資料提供・実証実験・普及	北海道
7	荒木文明	株式会社 MCC マネジメント 管理本部　人材開発部　人材事業推進課 課長	企画・教育プログラム検討・資料提供・汎用性・普及	東京都
8	中野陽介	ゴダイ株式会社　教育採用支援部 副課長	企画・教育プログラム検討・資料提供・実証実験・普及	兵庫県
9	山本恭之	株式会社キノシタヤ薬局 代表取締役	企画・教育プログラム検討・資料提供・実証実験・普及	兵庫県
10	片山芳信	姫路ハーベスト医療福祉専門学校 医薬健康学科 学科長	教育プログラム企画検討・改善	兵庫県

③課題分析 WG

【目的】

企業ニーズ分析結果の反映確認とその環境整備を行う。

【役割】

●プログラム開発ＷＧから提案される内容の検討（ＫＰＩに沿った検討）

●企業ニーズ調査項目の検討

●企業ニーズ調査分析（調査企業数をもとに、企業等研修対象レベルの明確化等）等

【課題分析 WG 委員会構成委員】

氏名		所属・職名	役割等	都道府県名
1	西川　一	学校法人摺河学園　法人本部 本部長	企画推進 事業責任者	兵庫県
2	菅原　武	姫路ハーベスト医療福祉専門学校 法人本部 副本部長	企画推進 事務局責任者	兵庫県
3	中込和哉	一般社団法人日本薬業研修センター 理事長	企画・教育プログラム検討・資料提供	神奈川県
4	森田圭一朗	株式会社サッポロドラッグストアー　ドラックストア事業本部　第１エリア本部　ドラッグストア業務推進　Ｈ＆Ｂケア推進担当	企画・教育プログラム検討・資料提供・実証実験・普及	北海道
5	中野陽介	ゴダイ株式会社　教育採用支援部 副課長	企画・教育プログラム検討・資料提供・実証実験・普及	兵庫県
6	山本恭之	株式会社キノシタヤ薬局 代表取締役	企画・教育プログラム検討・資料提供・実証実験・普及	兵庫県
7	片山芳信	姫路ハーベスト医療福祉専門学校 医薬健康学科 学科長	教育プログラム企画検討・改善	兵庫県

④実証実験 WG

【目的】

企業の協力を仰ぎ、実証実験の実施とその運営管理を行う。

【役割】

●実証実験準備：プログラム開発ＷＧから提案される教育プログラムに対し、ＫＰＩに沿った内容かの確認・検討

●実証実験を開催するための次年度の手法・場所・人数・施設等の検討

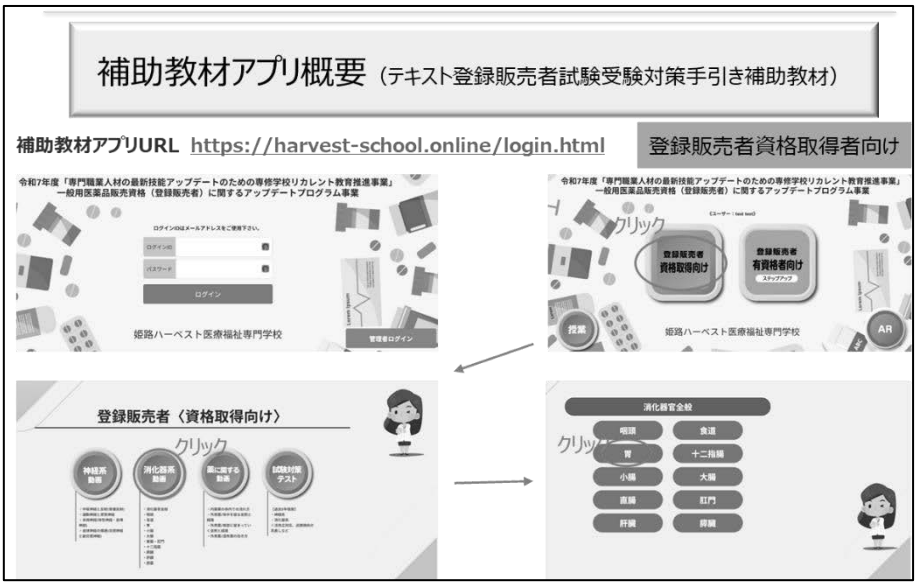
●実証実験アンケート内容検討（手法・評価項目等）　等

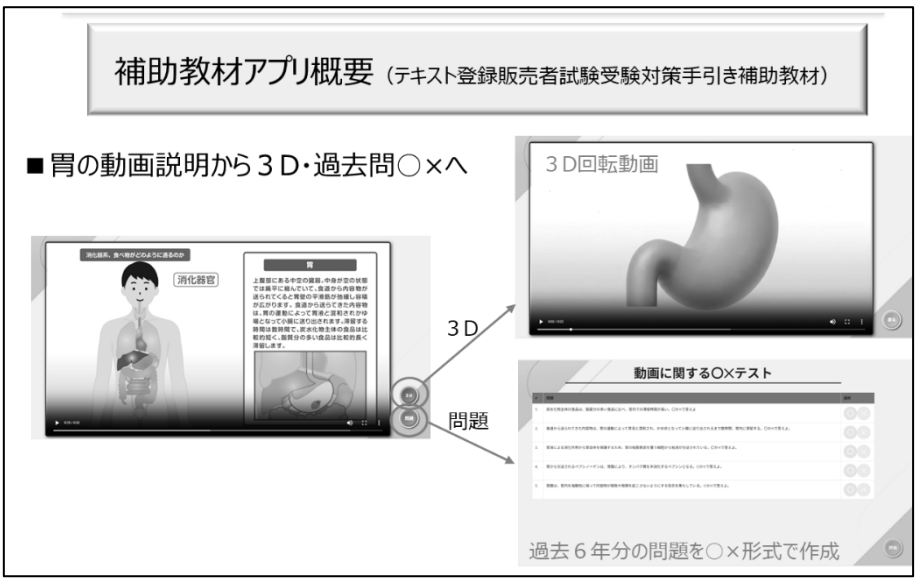
【実証実験 WG 委員会構成委員】

氏名		所属・職名	役割等	都道府県名
1	西川　一	学校法人摺河学園　法人本部 本部長	企画推進 事業責任者	兵庫県
2	菅原　武	姫路ハーベスト医療福祉専門学校 法人本部 副本部長	企画推進 事務局責任者	兵庫県
3	髙村幸生	北日本医療福祉専門学校　薬業科	教育プログラム検討・開発・実証実験・普及	岩手県
4	中込和哉	一般社団法人日本薬業研修センター 理事長	企画・教育プログラム検討・資料提供	神奈川県
5	横田　敏	一般社団法人日本薬品登録販売者協会　理事	企画・教育プログラム検討・資料提供	東京都
6	森田圭一朗	株式会社サッポロドラッグストアー　ドラックストア事業本部　第１エリア本部　ドラッグストア業務推進　Ｈ＆Ｂケア推進担当	企画・教育プログラム検討・資料提供・実証実験・普及	北海道
7	荒木文明	株式会社 MCC マネジメント　管理本部　人材開発部　人材事業推進課 課長	企画・教育プログラム検討・資料提供・汎用性・普及	東京都
8	中野陽介	ゴダイ株式会社　教育採用支援部 副課長	企画・教育プログラム検討・資料提供・実証実験・普及	兵庫県
9	山本恭之	株式会社キノシタヤ薬局 代表取締役	企画・教育プログラム検討・資料提供・実証実験・普及	兵庫県
10	片山芳信	姫路ハーベスト医療福祉専門学校 医薬健康学科 学科長	教育プログラム企画検討・改善	兵庫県

５．令和７年度取組み概要

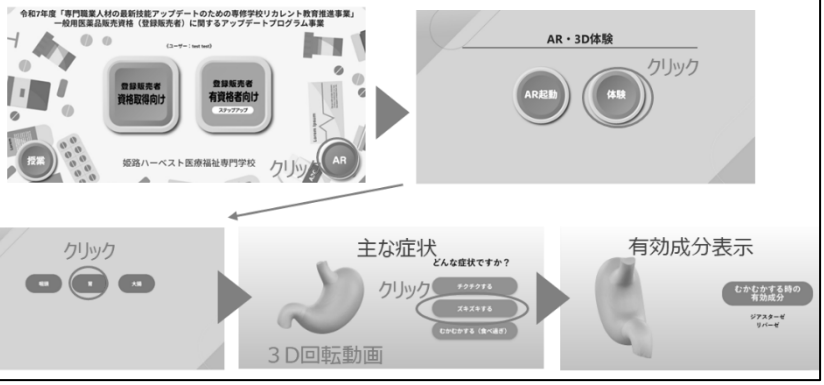
（１）補助教材アプリ開発（特徴抜粋）





補助教材アプリ概要（テキスト登録販売者試験受験対策手引き補助教材）

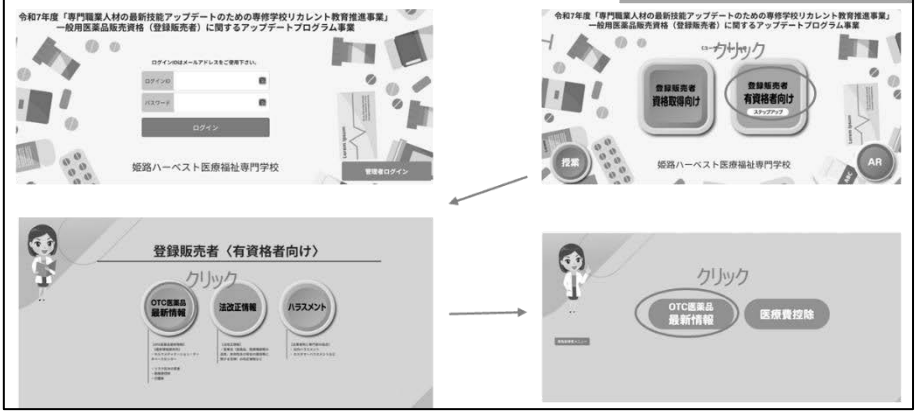
■消化器管の症状から有効成分への導き



補助教材アプリ概要（テキスト登録販売者試験受験対策手引き補助教材）

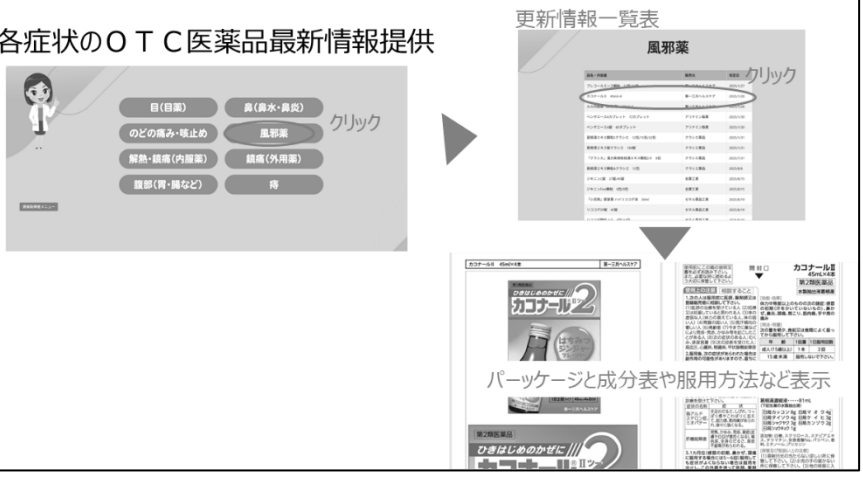
補助教材アプリURL https://harvest-school.online/login.html

登録販売者資格有資格者向け



補助教材アプリ概要（テキスト登録販売者試験受験対策手引き補助教材）

■各症状のＯＴＣ医薬品最新情報提供



補助教材アプリ概要（テキスト登録販売者試験受験対策手引き補助教材）

補助教材アプリURL https://harvest-school.online/login.html









補助教材アプリ概要（テキスト登録販売者試験受験対策手引き補助教材）

■ハラスメント事例







（２）シラバス・コマシラバス【初級編（登録販売者資格取得者向け）】

シラバス
近年のドラッグストアチェーン業界の躍進は目を見張るところがあり、業界の売り上げも右肩上がりが続いています。 また、ドラッグストアチェーンに勤務するには、「登録販売者」の資格取得が必須で、その資格取得に必要な時間は３００時間といわれています。 一番つまずきやすいと言われている消化器系や神経などをはじめ、薬の作用、接客技術といった部分に焦点をあてて理解に掛ける時間数の軽減につなげ、タイムパフォーマンスによる理解度向上と知識の定着効果を目指します。

コマシラバス	
テーマ	内 容
神経系	神経系を学ぶ上で基礎を固める。特に基礎固めに必要な神経系を抽出。イメージ化できるように動画・アニメーションに反映。
	①体制神経（運動神経・感覚神経）、②中枢神経、③末梢神経、④反射（脊髄神経）、⑤自律神経（交感神経と副交感神経）、⑥自律神経の構（交感神経と副交感神経）を学ぶ。
消化器系１	体の中でどのように飲食物が流れているかを知る。
	①体の中で飲食物がどのように流れているのか、通る順番と各消化器官をアニメーションで学ぶ。
消化器系２	各消化器管がどのような働きをしているのか知る。
	①各消化器官の名称と働きを知る（咽頭、食道、胃、十二指腸、小腸、大腸、直腸、肛門、膵臓、肝臓等）。
薬が体の中に入ることとは（内服薬・坐剤）	体中を廻って効果を発揮する内服薬と坐剤の体の中の入り方を学ぶ。
	①内服薬が体の中に入る入り方、②坐剤が体の中に入る入り方を学ぶ。
外用薬（局所作用）１	体の外から効果を発揮する薬を学ぶ。
	①湿布薬について学ぶ（外的からの衝撃によって、体の損傷部分がどのようになるのか、含まれている有効成分がどのような働きをして、元にもどすのかなど）。
外用薬（局所作用）２	２つの働きをする坐剤を知る。
	①局部に留まって効果を発揮することを学ぶ、②体中に廻って効果を発揮すること学ぶ。

【 科目名 ：薬業演習Ⅱ 】

（ 座学 ・ 演習 ・ 実習 ）

授業時間： 分　教員名：

<table>
<tr><td>単元</td><td colspan="3">第　回 アプリ活用型・参加型授業</td><td>授業回数
回／回</td></tr>
<tr><td>授業
大目標</td><td colspan="4">登録販売者として必要な基礎知識を理解し、
医薬品の適正使用と安全な販売を行うための判断力を身につける。</td></tr>
<tr><td>授業
中目標</td><td colspan="4">本時の学習範囲における重要用語・基本知識を説明できる。
出題形式の問題に取り組み、自身の理解度を把握できる。</td></tr>
<tr><td></td><td rowspan="2">授業小目標</td><td colspan="2">教育内容</td><td rowspan="2">教材等</td></tr>
<tr><td>教員から学生への
教授方法</td><td>学生の
理解度・行動・態度</td></tr>
<tr><td>導入
分</td><td>授業の目的とアプリ操作方法を理解する</td><td>・授業目的を説明する
・アプリへの接続方法を示す
・簡単な確認問題を出題</td><td>・アプリにアクセスする
・積極的に回答する</td><td>登録販売者試験
対策テキスト
補助教材アプリ</td></tr>
<tr><td>展開
分</td><td>本時の重要ポイントを理解し、問題演習を通して知識を定着させる</td><td>・アプリ内動画を用いて解説
・アプリで問題を出題
・回答結果を共有し解説</td><td>・問題に取り組む
・結果を確認する
・解説を聞き理解を深める</td><td>登録販売者試験
対策テキスト
補助教材アプリ</td></tr>
<tr><td>まとめ
分</td><td colspan="2">医薬品は人体の仕組みに作用するものであり、人体の構造と働きを理解することが、安全な医薬品販売につながる。</td><td></td><td>登録販売者試験
対策テキスト
補助教材アプリ</td></tr>
<tr><td>評価</td><td colspan="4">・授業への参加態度
・アプリを用いた問題への回答状況
・振り返り内容による理解度確認</td></tr>
<tr><td colspan="2">使用テキスト</td><td colspan="3">登録販売者試験対策テキスト
補助教材アプリ</td></tr>
</table>

北日本医療福祉専門学校　科

（３）実証実験概要

①実施先・人数・日時：

実施先	人　数	日　時
北日本医療福祉専門学校	１１名	令和７年１１月１４日（金） １０：５０～１２：２０
	１１名	令和８年1月２８日（水） １０：５０～１２：２０
姫路ハーベスト医療福祉専門学校	１８名	令和７年１２月１７日（水） ９：００～１２：１０
ゴダイ株式会社	２名	令和８年1月２６日（月） １０：４０～１２：１０

②対象：

・登録販売者資格取得を目指す専門学校１年生

・令和８年度ドラッグストアチェーン就職内定者向け

・企業教育担当者

③実証実験授業形態：

特別授業としてコマシラバスをもとに各校それぞれの手法で検証を行う。

姫路ハーベスト医療福祉専門学校	通常授業形成で実施：神経系、消化器系の解説をし、動画視聴と過去問○×学習体験の実施
北日本医療福祉専門学校	【有資格者向け】 内定者向けに、振り返り学習とステップアップ編の体験授業を実施 就業前の学び直しと就職後の継続学習体験の学び足しを目的に実施
	【資格取得者向け】 通常授業形式導入＋自己学習、振り返りと知識定着を目的に実施、動画視聴、過去問○×の自己学習、e-learning やステップアップ編の体験のほか、アプリ機能を体験しながら学習意欲の向上を狙う
ゴダイ株式会社	企業教育担当としての視点から開発した補助教材アプリの評価を実施

④新規作成：症状事例ＡＲ参考原稿（抜粋）

１．咽頭～食道

上咽頭、中咽頭、下咽頭にわけられ、食道の入り口まで。
下咽頭から続く食道を含めた消化器として、解釈しました。
「飲食物が口腔から受け入れられ、胃へ送り込む働き」ができているかどうか。

【１．胸やけ、すっぱいものが上がる。呑酸（どんさん）】

①胃液、消化酵素等が、逆流している。
«胃酸分泌過多、ストレス»
⇒消化管機能改善薬➡六君子湯
⇒粘膜保護薬➡テプレノン、銅クロロフィリンナトリウム、甘草
⇒制酸薬（胃に作用して）➡水酸化マグネシウム、炭酸水素ナトリウム、炭酸マグネシウム
⇒芳香性健胃薬➡ウイキョウ、チョウジ、ケイヒ、チンピ、ハッカ、メントール
⇒プロトンポンプ阻害薬（胃に作用して）➡ラベプラゾール、ランソプラゾール（要指導医薬品）
⇒H2 受容体拮抗薬➡ファモチジン、ラニチジン（第 1 類医薬品）

【２．嘔気、吐き気】

①（食後 30 分）：食道の飲食物の運搬が滞っている。
原因：過食、ストレス
⇒消化酵素➡リパーゼ（脂質分解酵素）、ジアスターゼ（タンパク質・炭水化物分解酵素）
ウルソデオキシコール酸

②（食前または、空腹時）：胃の運動機能低下、胃酸過多、ストレス
⇒制酸薬（胃に作用して）➡水酸化マグネシウム、炭酸水素ナトリウム、炭酸マグネシウム
合成ヒドロタルサイト
⇒消化管機能改善薬➡半夏瀉心湯

③（食事に関係なく）：胃の運動が低下
⇒消化管運動亢進薬➡厚朴（半夏厚朴湯）、蘇葉
⇒制吐薬➡半夏（半夏瀉心湯、半夏厚朴湯）

④乗り物酔い
⇒鎮暈薬➡ジフェニドール塩酸塩
⇒抗ヒスタミン作用➡ジフェンヒドラミン塩酸塩、クロルフェニラミンマレイン酸塩、
メクリジン塩酸塩、ジメンヒドリナート
⇒制吐薬➡（抗コリン作用）スコポラミン臭化水素酸塩
➡（局所麻酔薬）アミノ安息香酸エチル

⑤受講生・講師アンケートの実施

■ 学生アンケート

本事業で開発したアプリを使用した際のアンケートをお願いします。

学校名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

学　年：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

1．操作しやすいと思いましたか

ア）思った　　イ）まあまあ思った　　ウ）普　通　　エ）あまり思わなかった　　オ）思わなかった

2．コンテンツは役立つと思いましたか

ア）思った　　イ）まあまあ思った　　ウ）普　通　　エ）あまり思わなかった　　オ）思わなかった

3．テキストよりスムーズにイメージできましたか

ア）できた　　イ）まあまあできた　　ウ）普　通　　エ）あまりできなかった　　オ）できなかった

4．動画や映像は見やすいと思いましたか

ア）思った　　イ）まあまあ思った　　ウ）普　通　　エ）あまり思わなかった　　オ）思わなかった

5．解説は理解しやすかったですか

ア）思った　　イ）まあまあ思った　　ウ）普　通　　エ）あまり思わなかった　　オ）思わなかった

6．動画の長さや解説のテンポは適切だと感じましたか

ア）感じた　　イ）まあまあ感じた　　ウ）普　通　　エ）あまり感じなかった　　オ）感じなかった

7．アプリは便利と思いましたか

ア）思った　　イ）まあまあ思った　　ウ）普　通　　エ）あまり思わなかった　　オ）思わなかった

8．使用したアプリは理解を深めるのに役立つと思いましたか

ア）思った　　イ）まあまあ思った　　ウ）普　通　　エ）あまり思わなかった　　オ）思わなかった

9．その他ご意見や要望等がございましたらお願いします

■ 講師アンケート

本事業で開発したアプリを使用した際のアンケートをお願いします。

1．授業の進行はスムーズになったと感じましたか

ア）感じた　イ）まあまあ感じた　ウ）普 通　エ）あまり感じなかった　オ）感じなかった

2．動画や映像は必要と感じましたか

ア）感じた　イ）まあまあ感じた　ウ）普 通　エ）あまり感じなかった　オ）感じなかった

3．動画の解説は授業をスムーズに進める上でテンポは適切だと感じましたか

ア）感じた　イ）まあまあ感じた　ウ）普 通　エ）あまり感じなかった　オ）感じなかった

4．使用したアプリは受講生が理解を深めるのに役立つと思いましたか

ア）思った　イ）まあまあ思った　ウ）普 通　エ）あまり思わなかった　オ）思わなかった

5．教材作成や教える（＝説明）時間が軽減できると感じましたか

ア）思った　イ）まあまあ思った　ウ）普 通　エ）あまり思わなかった　オ）思わなかった

6．上記５でア）とイ）に回答した方にお聞きします。１週間でどれくらいの負担軽減につながると思いますか

約＿＿＿＿時間程度

7．その他ご意見や要望等がございましたらお願いします

６．会議実績

（１）第１回企画推進委員会会議

・開催日時：令和７年７月２日（水）　１５：００～１７：００

・会　　場：姫路ハーベスト医療福祉専門学校　会議室・オンラインホスト

・出 席 者：９名

【 目 的 】

・本事業の令和７年度の取り組みの共通認識を行うことを目的とした会議を開催

【会議次第】

１_ １５：００ 開 会

２_ １５：０５ 委員自己紹介

３_ １５：２０ 議 事

（１）本事業の概要説明

（２）令和６年度実証実験の状況と成果の報告

（３）令和７年度の取り組み概要の説明

４_ １６：５０ その他（連絡事項・意見交換等）

５_ １７：００ 閉 会

（２）第１プログラム開発ＷＧ・実証実験ＷＧ会議

・開催日時：令和７年１０月２２日（水）　１５：００～１７：００

・会　　場：姫路ハーベスト医療福祉専門学校　会議室・オンライン

・出 席 者：５名

【 目 的 】

・本事業の令和７年度の取り組みの共通認識を行うことを目的とした会議を開催

【会議次第】

１_ １５：００ 開 会

２_ １５：０５ 議 事

（１）アプリ開発進捗状況

（２）実証実験実施について

３_ １６：５０ その他（連絡事項・意見交換等）

４_ １７：００ 閉 会

（３）第１回課題分析ＷＧ会議

・開催日時：令和７年１２月４日（木）１５：００～１７：００

・会　　場：姫路ハーベスト医療福祉専門学校　教場・オンライン

・出 席 者：６名

【 目 的 】

・実証実験報告とアプリ概要・操作について確認と意見交換を目的とした会議を開催

【会議次第】

１_ １５：００ 開 会

２_ １５：０５ 議 事

（１）実証実験ヒアリング報告

（２）アプリ操作について

３_ １６：５０　その他（連絡事項等）

４_ １７：００　閉 会

（４）第２回企画推進委員会会議

・開催日時：令和８年１月２０日（火）　１５：００～１７：００

・会　　場：姫路ハーベスト医療福祉専門学校　会議室・オンラインホスト

・出 席 者：６名

【 目 的 】

・本事業で開発する補助教材アプリの最終確認、および今後の実証実験の確認を目的に会議を開催

【会議次第】

１_ １５：００ 開 会

２_ １５：０５ 議 事

（１）補助教材アプリについて

（２）事業のご感想（ご出席委員皆様からのご感想）

３_ １６：５０　その他（連絡事項・意見交換等）

４_ １７：００　閉 会

第 2 章 令和7年度活動詳細